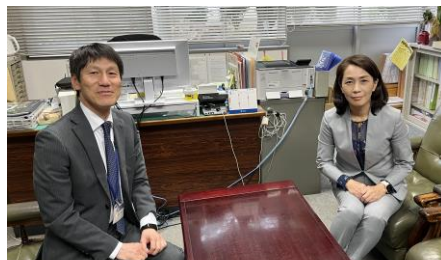


# 女性教職員活躍推進だより

第9号 令和6年5月27日 教育庁職員課

★★ 女性管理職ロールモデル紹介 ★★  
福島市立西信中学校長

吉田 牧子 さん



職員課主幹兼副課長  
渡辺隆博が話を伺いました！！

Q:これまでの経歴を教えてください。

猪苗代町立東中学校から教諭としてスタートし、国見町立県北中学校、伊達市立桃陵中学校で勤務しました。桃陵中学校では、副担任を経験し、副担任として何ができるのかを自分なりに考えて行動しました。それまでは、自分の学級という視点で物事を見ていたことが多くあったのですが、副担任の経験から学年全体を見るという視点に広がりました。担任に戻った際には、学年の中の自分の学級という考え方に、自然と変わっていました。その後、縁があって、鹿児島県に行かせていただき、鹿児島県南さつま市立大浦中学校で3年間勤務しました。

教頭として、福島県に戻り、福島市立茂庭中学校、国見町立県北中学校の2校を経験しました。校長としては、いわき市立大野中学校で3年、初めての小学校勤務を福島市立庭坂小学校で4年、現任校が2年目となります。

Q:女性管理職のロールモデルはいましたか？

特に男性、女性を意識せず、管理職の先生方のよいところを見習おうと思いながら職務にあたってきました。特に「誠実」な対応をする教頭先生の印象が強く残っています。

Q:ワークライフバランスの点で工夫したことは？

教頭時代には、「週に1日は、趣味の時間に充てよう。」と思って取り組んでいました。茂庭中学校の時は、生徒の母親とバレーボールの練習をしたり、大会に出場したりと身体をたくさん動かしました。私生活の充実が何よりも大切なことだと思います。

Q:ミドルリーダーの経験は？

特に主任の経験はありません。しかし、自分が担当した校務分掌が、今の自分の一部となっています。特に、生徒会を担当した経験が大きかったです。文化祭など、様々なことを調整しながら学校全体を動かすことが楽しいと思うようになりました。



### Q:教頭のやりがいは？

「ありがとうございます。」などの感謝の言葉で、「校長先生、先生方、保護者、地域の方々の役に立っているな。」と思えた時に、教頭としてのやりがいを感じていました。校長先生の「こういうことがやりたい。」という思いを大切に、それに沿って企画、準備をし、大勢の方々と連携し、実現させることができました。教育委員会と連携し、教育委員会の施策を自校の課題解決に生かして取り組んだことが印象に残っています。

### Q:逆に大変だったことは？

教頭として初めて赴任した学校では、事務職員がいませんでした。学校事務を行っていく上で、専門用語などを覚えるのが大変でした。しかし、前任の事務職員の先生が応援に来てくださるなど、多くの方々に支えていただきながら業務を進めることができました。この時の経験が今、とても役に立っています。

### Q:校長としてのやりがいは？

子どもたちの成長した姿を見ることができることが、何よりもうれしいです。子どもたちに必要な資質・能力を高めるために、学校で何ができるのか、どんな予算が必要か、マンパワーは足りているか、地域の施設を活用することはできないか、実現するために様々なことを考えることがとてもおもしろいです。

### Q:最後に、みなさんに一言お願いします。

私は、管理職になる前、ミドルリーダー等の経験はありません。経験がなくても大丈夫です。教頭、校長の職務をとおして、多くのことを学び、経験することができます。「もっといろいろな仕事をしてみたい。」「他の校務分掌を経験してみたい。」という思いを、「女性だから・・・。」ということで、あきらめしないで、持ち続けてほしいと思っています。チャンスはきます。また、管理職のみなさんには、女性だからと遠慮せずに次のステップへの声をかけていただければと思います。それが、「機会があったら」「時期がきたら」という女性の思いにつながり、一步を踏み出す勇気につながると思うからです。

吉田牧子さん、

貴重なお話、大変ありがとうございました！

次回の女性教職員活躍推進だよりの発行は、  
6月下旬頃を予定しています。

今年度も、福島県で働く女性教職員の活躍を  
伝えていきたいと思っています。よろしくお願いします。



#### ～女性教職員活躍推進だよりの発行に当たって～

福島県教育委員会は、女性が職場においてその力を発揮できるよう、「女性教職員活躍推進プラン」を策定し、教職員のニーズに即した女性活躍のための対策を計画的に推進します。また、男女共同参画の実現に向けて、人事の公平性・公正性を確保しつつ、女性教職員の管理職への登用に努めることで、令和7年度までに、女性管理職の割合を教頭・副校長で15%、校長で13%とすることを目標としています。